

田植同時処理に
おすすめ!

農林水産省登録
第24357号
自然に学び自然を守る



水稲用初期除草剤

ショキニー®

1キ口粒剤



アゼナ、
ホタルイも
OK!

®はクミアイ化学工業(株)の登録商標です。

特長

SU剤抵抗性ホタルイやアゼナ類に優れた効果を示します。

クログワイに対して、発生前の散布で優れた効果を示します。

効果の持続期間が長く、幅広い雑草の発生を抑えます。

田植同時処理が可能です。

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、 クログワイ、シズイ、 コウキヤガラ	移植直後～ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで	1kg	1回	湛水散布又は 無人航空機による散布
		移植時			田植同時散布機で施用
プロモブチドを含む農薬の総使用回数			ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数		
2回以内			2回以内		

上手な使い方



⚠ 使用上の注意事項

- 雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ミズガヤツリは1葉期まで、ヘラオモダカ、クログワイ、シズイ、コウキヤガラは発生始期までが散布適期です。
- クログワイに対しては発生期間が長く、遅い発生のものには効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、整地、代かきはていねいにおこない、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ・ 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ・ 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置の開度を調整してください。
 - ・ 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布してください。
 - ・ 水源池、飲料用水等に薬剤が飛散、流入しないように十分注意してください。

- 以下の水田では初期生育の抑制を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - ・ 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ・ 軟弱徒長苗を移植した水田
 - ・ 極端な浅植や深植をした水田
- れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- 処理後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

⚠ 安全使用上の注意事項

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

本資料は2020年3月現在の知見に基づき作成しております。

● 使用前にはラベルをよく読んでください ● ラベルの記載以外に使用しないでください ● 小児の手の届く所に置かないでください。

1786(20-4)